

資料 2

令和 5 年度

事 業 概 要

— 「学び」と「遊び」の活動交流拠点 —

前橋市児童文化センター

－ 目次 －

児童文化センターの特徴

1 施設の特徴	1 ページ
2 事業の特徴	2 ページ
3 人材の特徴	
4 様々な機関や組織との連携の推進	

施設の概要

I 前橋市児童文化センター	3 ページ
II 前橋こども公園	

令和5年度 事業の概要

I 運営目標	4 ページ
II 本年度の重点施策	
1 交通・天文・環境教室の充実	
2 自然体験活動の充実	
3 科学・文化芸術教育活動の充実	
4 遊びの充実と多世代交流の推進	
5 施設管理	7 ページ
III 開館時間・料金等	8 ページ
IV 事業体系	9 ページ

児童文化センターの特徴

- 子供にとって、総合的な科学・文化芸術活動、様々な体験ができるところ。遊びながら学べるところ。
- 市民にとって、安心して小さな子供を連れて遊びにいけるところ。また、ボランティア活動を通して、多様な世代の交流ができるところ。
- 学校・園にとって、交通・天文・環境を学ぶところ。より質の高い学びの体験ができるところ。

1 施設の特徴

○前橋こども公園と一体化した教育施設

屋外の交通学習ゾーン、芝生広場、冒険遊びゾーン、さらに館内すべてのところで、子供たちの夢を育て可能性を広げる総合的な文化施設となっている。

○交通学習にふさわしい施設

交通学習ゾーンでは、体験的に交通ルールを学べる環境を整えている。

○豊かな発想により使い方が広がる施設

ホール、フリースペース、ワークルームなど、開閉・可動壁で多様な使用ができる施設。

○「学び」も「遊び」も人から人へ

科学等に関する展示は少なく、「学びも遊びも人から人へ」のコンセプトをもち、子供の活動自体が、子供自身、指導する者、そして活動を目的にする者にとって「文化の形」を示している。そのための体験型の企画やマンパワーが活かせる仕組みを随所に持っている。

○建物自体が教材で、仕組みが見える造り（エレベーター、のぞき窓など）

○教育的価値を追求するプラネタリウムがある施設

限りなく本物に近い星空を再現できる光学式とデジタル式を融合させたハイブリッド型プラネタリウム。全国的にも数少ない意図的・計画的な自主番組制作、職員の生解説、学校・園と連携した学習投影など、プラネタリウムから実際の星空に関心が広がる工夫が進められている。

○自然と環境、自然エネルギー等について学べる施設

- ・水力発電・風力発電・太陽光発電装置、太陽光採光システム、屋上緑化・壁面緑化、雨水利用システムなどの設備を直接見て環境について考えることができる。
- ・公園内の様々な種類の樹木、植栽、メダカや多種の水生生物のいるビオトープや昔ながらの田んぼの再現など、地域の自然環境を生かした自然や環境に関する学習ができる。

○240台の駐車場完備

- ・混雑時には第二駐車場も開放している。



2 事業の特徴

- 多様な文化活動（科学、文化芸術、交通安全、環境教育、自然体験等）を実施し、子供たちの科学・文化活動の中核となる事業を行う。
- 体験的な活動を重視して、「学び」と「遊び」を一体化した事業を行う。
- 様々な人（多世代、異年齢、多地域の人など）との交流が図れる事業を行う。
- 学校・園と連携（教育課程にかかる事業、学校外活動の推進）した事業を行う。
- 社会教育施設として家庭教育、子育て支援も推進する。

3 人材の特徴

- 職員は、教員や教員免許保有者が多く、理科、技術・家庭、音楽などの各教科、司書、幼稚園、養護など多岐にわたり、交通指導、天文指導、環境教育などの実践者がおり、充実した指導を行っている。
- 事務職員は、計画的な施設管理のほか、適正な予算編成や執行、契約事務等に対応している。
- 児童文化センター所有の2台のバスと運転技士により、安全で信頼できるバス運行が可能である。
- サポートスタッフとして、学生が子供たちの活動を支援している。
- 市内の学校や大学の先生方、有識者を講師として依頼し、職員とともに子供たちへの指導を行ったり、プラネタリウム番組の制作をしたりしている。
- 一般ボランティア、青少年ボランティア、野メダカを育てる会など、多くのボランティアが児童文化センター職員とともに子供たちのために活動している。

4 様々な機関や組織との連携の推進

- 行政内（教育委員会事務局以外）
　　交通政策課、文化国際課、防災危機管理課、環境政策課、公園緑地課、公園管理事務所、秘書広報課、渋川森林事務所、県森林保全課、県環境政策課、県eスポーツ・新コンテンツ創出課 等
○施設
　　前橋文学館、市立図書館、赤城少年自然の家、国立赤城青少年交流の家、公民館、前橋東警察署、前橋中央消防署、アーツ前橋、総社歴史資料館、群馬県立自然史博物館、ぐんま昆虫の森、ぐんま天文台、tsukurun 等
- 大学等
　　群馬大学、前橋工科大学、共愛学園前橋国際大学、群馬社会福祉専門学校、育英大学、高崎健康福祉大学、東京福祉大学、群馬医療福祉大学、市立前橋高校、勢多農林高校、群馬工業高等専門学校 等
- 団体等
　　前橋市文化協会、前橋市民音楽連盟、群馬県少年少女合唱団連盟、前橋東ロータリークラブ、商工会議所、青年会議所、ものづくり指南塾、発明協会、前橋テクノフォーラム、県こどもエコクラブ、ぐんま緑のインタープリター協会、ぐんま山森自然楽校、赤城自然塾、県プラネタリウム連絡協議会、群馬星の会、ボーイスカウト、日本宇宙少年団前橋分団、体験の風をおこそう実行委員会 等

(順不同)

施設の概要

I 前橋市児童文化センター

1 名称及び所在地

前橋市児童文化センター TEL (027) 224-2548
FAX (027) 243-8361

前橋市西片貝町五丁目8番地

2 目的

前橋の子供たちの科学及び文化芸術に対する理解と関心を高め、心身の健全な育成を図る。

○コンセプト

まちなかの身近な「学び」と「遊び」の活動交流拠点として、科学・文化、環境、自然体験活動等を通し、子供たちの夢を育て可能性を広げる総合文化施設とする。

3 開館

平成24年1月（旧館開館 昭和44年10月）

4 施設の規模及び構造

○敷地面積 38,500 m² (前橋こども公園を含む)
○構造 鉄筋コンクリート地上2階建て
○規模 建築面積 1,635.28 m²
延床面積 2,783.51 m²

○館内施設

フロア	主な施設・部屋名
1階	エントランスホール、プラネタリウム、ほしのみち、みんなのホール わくわくひろば、わくわくアクア、ワークルーム1、キッズショップ
2階	どれみふあルーム、はっけんラボ、つくるーむ、スペース eco、ワークルーム2
屋上	おひさま広場、ほしの広場

○事業費 905,094,750円（本体及び外構等工事費）

II 前橋こども公園

1 名称及び所在地

前橋こども公園 前橋市西片貝町五丁目7番地・8番地

2 公園内の施設

管理ヤード、ゴーカートゾーン、交通学習ゾーン、水辺観察ゾーン、観察の森ゾーン

芝生広場ゾーン、エントランスゾーン、雑木林と文学のゾーン

駐車場（普通車240台、大型バス3台）

冒険遊びゾーン（平成26・27年度、令和3年度に新たな遊具を製作・設置）

音のステージ（平成28年度）、時の広場「日時計」とメダカロードの設置（令和元年度）

3 ゴーカート

○ガソリンゴーカート（10台）、EVゴーカート（3台）

○1周：約700m

令和5年度 事業の概要

I 運営目標

子供たちの文化活動の中核として、科学的な原理・法則や環境保全について総合的・体験的に学ぶ活動や、文化芸術に触れたり自己表現をしたりする活動、交通安全教育、多様な体験や交流活動の機会の充実等に係る事業などをを行い、多様な人とかかわりながら、個性を生かし、夢に向かって主体的・創造的に活動する子供の育成を目指す。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえた事業展開に努める。

II 本年度の重点施策

1 交通・天文・環境教室の充実

(1) 交通教室の充実

[目標・ねらい]

- 全小学校4・6年生及び希望する中学校・特別支援学校を対象に自転車教室を実施することにより、交通事故を防止しようとする態度や能力を育てる。
- 幼稚園・保育所(園)・特別支援学校等を対象に歩行教室を実施することにより、交通事故を防止しようとする態度や能力を育てる。

[今年度の重点]

①小学校・中学校・特別支援学校

- ・自転車に不慣れな児童の練習の場を設け、引率者が指導できるよう、乗り方の助言、職員配置等の工夫、指導方法の改善に努める。
- ・自転車に乗る経験が少ない児童のため「親子自転車乗り講習会」を開催し、操作習熟を図る。

②幼稚園・保育所(園)・特別支援学校

- ・入園、入学後の安全な登下校のため、年長児等を対象として道路の歩行を重点に実施していく。

(2) 天文教室の充実

[目標・ねらい]

- プラネタリウムの機能を活用した天文教室を実施することにより、子供たちの宇宙や天体への理解を深め、観察への意欲を高める。
- 実際に天体を観察する移動天文教室を実施することにより、子供たち及び保護者の天体に関する興味・関心を高める。

[今年度の重点]

①小学校

- ・事前打合せによる理科の授業の現状把握と、学校ごとの実態に応じた展開や理科授業者の参加を引き続き促すとともに、充実に向けたタブレットPCを含むITの効果的活用方法を含め内容の改善に努める。
- ・移動天文教室では、実際の天体観察を通して宇宙や天体への興味・関心の向上を図るとともに、学校の理科学習の振り返りにつなげられるよう努める。

②幼稚園・保育所(園)

- ・Webページでの情報提供や事前打合せ等による適切な番組選択、実態に応じた星空解説に努める。

(3) 環境教室の充実

[目標・ねらい]

○児童文化センターの自然や施設、学校の環境を活用した主体的・対話的な環境教室を実施することにより、学校における環境教育の充実を図ることにより、環境に対する児童の関心・意欲を高める。

[今年度の重点]

①各学校の教育課程に対応した柔軟な事業対応

- ・実施内容を家庭に周知し、家族と一緒に環境を考えられる教材の充実をさらに進める。
- ・新プログラムも含め学習展開、教材などを指導担当者で話し合い、内容の充実をさらに図る。

②学校の環境教育充実のための外部との連携強化

- ・教科や環境教育に「環境教室」を位置付けるよう引き続き依頼し、ニーズに応じた支援を実施する。
- ・学校教育課と連携し、環境教育主任会への情報提供や教育内容に関わる支援に努める。
- ・環境森林課などと連携して専門的知識をもつ担当職員を講師に招聘し、より深い学びを実現していく。

2 自然体験活動の充実

[目標・ねらい]

○効果的な活動例の提示や相談などを行うことにより、学校等の児童生徒主体の自然体験活動を支援する。

○人材の紹介や自然体験活動講師の派遣等を行うことにより、学校や林間学校における自然体験活動の推進を図る。

○教員に対する自然体験活動の研修を実施することにより、自然体験活動の充実を図る。

[今年度の重点]

①学校対象

- ・事前・事後の活動の進め方や有効活用への助言、具体的アドバイスを行うなど、積極的なコーディネートを進める。
- ・指導の展開事例を再検討し、児童生徒がより主体的に取り組み、関心や意識を高められるようさらに内容の充実を図る。
- ・講師や事例の紹介などで、林間学校以外の自然体験活動も推進する。
- ・講師と連携作成した「森のパワーを探してみよう」を活用した実践事例を評価・検証し、さらに内容の充実を図る。

②一般市民対象

- ・業務委託により、自然観察会やネイチャークラフト、親子トレッキング等を実施する。

3 科学・文化芸術教育活動の充実

(1) クラブ活動の充実

[目標・ねらい]

○科学・文化芸術に関する様々なクラブ(環境冒険隊・宇宙・ジュニアオーケストラ・合唱団・演劇・発明)を実施することにより、子供たちの個性や能力を伸ばし、人と関わる力を育てる。

[今年度の重点]

- ・豊かな体験の場、自らの成長を実感できる主体的活動の場となるよう、活動内容の精選や改善を図る。
- ・指導教員の資質向上の場として、学校教育課、総合教育プラザと連携した講師育成や一般講師の人材開拓に努める。
- ・充実した活動を維持し継続するため、基本的な感染症対策を実施するとともに、活動場所の確保等担当者間の連携を密にする。

(2) 多様な科学・文化芸術に関する教室の充実

[目標・ねらい]

○科学・文化芸術に関する教室(夏季教室、わくわく教室等)を実施することにより、子供たちの興味・関心を広げ、多様な体験活動を推進する。

[今年度の重点]

- ・子供たちの多様な体験活動の支援を行う市民活動を支援し、連携・協働・情報交流を進める。
- ・環境教育やSDGsを視野に入れた新しい教室の実施を引き続き検討する。
- ・基本的な感染症対策を行い、活動内容の精選や改善、支援の在り方を検討する。
- ・実施状況や内容を参加者に伝えるWebページの充実や、閲覧の働きかけを継続する。

(3) プラネタリウムの番組の制作と投影

[目標・ねらい]

○毎月更新される自主制作プラネタリウム番組の提供と、対話型の星空解説を取り入れた質の高いプラネタリウム投影を実施することにより、観覧者の天文への興味・関心を高める。

○市民天文教室やプラネタリウムコンサートなど、投影の内容や方法を工夫することにより、多くの市民が宇宙や天文現象に触れる機会を提供する。

[今年度の重点]

- ・天文現象等の情報交換、時季に応じた星座解説などの計画的な研修により、職員の能力向上を図る。
- ・番組制作に携わる市民との連携を密にして、充実した内容で分かりやすい番組を制作していく。
- ・市民天文教室でのプラネタリウムの活用や、プラネタリウムコンサートの実施方法を引き続き検討する。
- ・天文現象等に触れる機会となる新企画を検討する。
- ・来場者アンケートを実施し、その意見を基に充実した投影に繋げていく。
- ・団体投影の対象を広げていくための周知方法を検討する。

4 遊びの充実と多世代交流の推進

(1) 各種イベントや体験的な事業の推進

[目標・ねらい]

○「わくわくチャレンジコーナー」「冒険遊び場」などを実施することにより、子供たちの体験活動を充実させる。

[今年度の重点]

- ・子供たちの主体性を育む活動となるよう、企画の見直し、指導内容の検討・確認、講師との事前打合せを十分に実施する。
- ・「わくわくチャレンジコーナー」指導に参画する大学生を募集してコーナーの継続に努め、体験活動を充実させるよう講師研修を継続実施する。
- ・新型コロナ感染症の5類移行を踏まえ、ボランティア参画によるイベントや活動の再開を進め、体験活動の拡充に努める。

(2) 交通安全に関わる体験の充実・こども公園の活用

[目標・ねらい]

○ゴーカートや足踏みカートを運行することにより、子供たちが遊びを通して交通ルールやマナーについて学ぶ機会を提供する。

○芝生広場、交通学習ゾーン、大型遊具、冒険遊びゾーンなど、「学び」と「遊び」の場を提供し、子供たちの健全育成を図る。

[今年度の重点]

- ・歩行や足踏みカートなどを活用して交通ルールやマナーが学べるよう、公園指導員を配置し、引き続き指導の充実を図る。
- ・ゴーカートの運転を実際に体験して交通ルールやマナーを学べる運用となるよう、安全性等を考慮しながら適宜検討を行う。
- ・冒険遊びゾーン内遊具は、職員の日常点検ほか適正な点検・補修を行い、安全な運営を継続する。

(3) 市民力の活用と多世代の交流

[目標・ねらい]

- 様々なイベントや「冒険遊び場」等で、ボランティア・青少年ボランティアの活動の場を提供することにより、市民力の活用を推進し青少年の育成を図る。
- ボランティア・青少年ボランティアが交流できる組織を充実させることにより、多世代交流を推進する。

[今年度の重点]

- ・ボランティアの会と情報共有や連携を図り、活動の活性化や自主的企画・運営に対して支援を行う。
- ・ボランティアの増員のため、ボランティア経験学生や視察学生等に対し積極的な声かけを行う。

5 施設管理

[目標・ねらい]

- 安全安心に利用できる施設の管理・運営を図るため、施設・設備全体の管理計画に基づき、適切な修繕等を実施する。
- 公園管理事務所などの関係課と連携し、安全な環境の維持管理を行う。

[今年度の重点]

- ・令和4年度の外壁調査結果をうけた外壁改修修理工事を実施する。
- ・環境教育等の有効活用のため、故障中の水車及び風車の修繕を実施する。
- ・プラネタリウムプロジェクターのメンテナンス期間終了に伴い、設備更新を適正に実施する。(3月更新予定)

6 予算関係

[目標・ねらい]

- 予算の適正な執行管理に努める。
- 広告収入やふるさと納税等の財源確保策に継続的に取組む。

[今年度の重点]

- ・施設の老朽化に伴う修繕や備品の購入等について、優先順位付けや内容の精査を行い、令和6年度に効果的に実施できるよう予算要求を行う。

III 開館時間・料金等

1 開館時間

午前9時～午後4時30分 (7月21日～8月26日は午後5時まで)

2 休館日

毎週月曜日・毎月第2木曜日 (祝日の場合は翌日)

12月29日～1月3日

3 入館料：無料

(1) プラネタリウム観覧料

一般投影：小中学生 100円

高校生以上 310円

未就学児 無料

団体投影：20人以上の団体利用者

小中学生 80円

高校生以上 250円

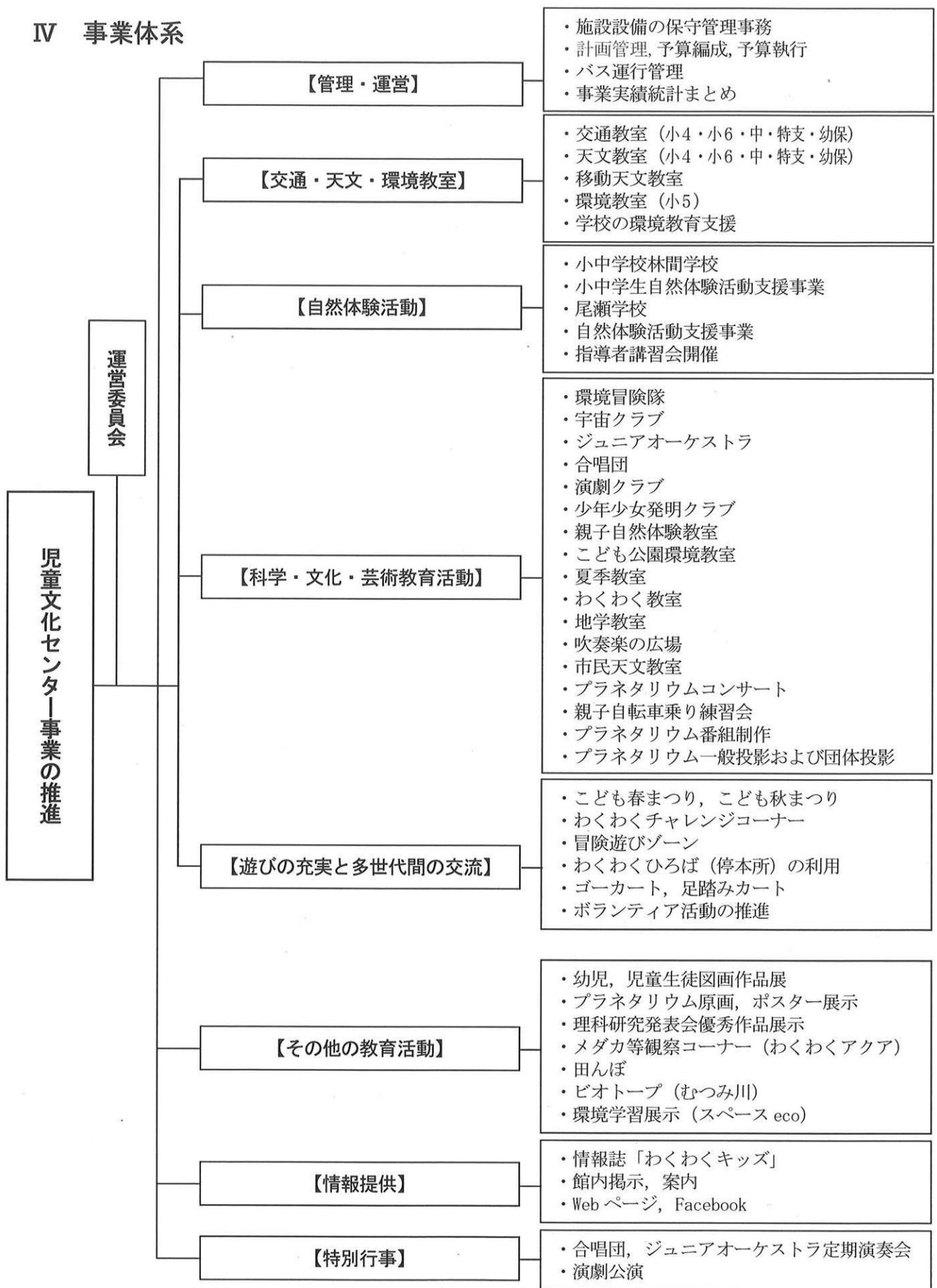
*障害者手帳等持参 (付添人1人含む) 無料

(2) ゴーカート料金

一周 100円



IV 事業体系



※事務局：前橋少年少女発明クラブ、野メダカを育てる会

前橋市児童文化センター事業コンセプト

資料2－1



「学び」と「遊び」の活動交流拠点として、
子どもたちの夢を育て可能性を広げる総合文化施設



◎ 児童文化センターの目的

前橋の子どもたちの科学及び文化芸術に対する理解と関心を高め、心身の健全な育成を図る。

◎ 事業内容

遊び場としての機能と教育機関としての機能を両立

遊び

遊び

学校教育(幼児教育) の教育課程の実施

- ・プラネタリウムを使った天文教室
(小4、小6及び幼稚園等の幼児向け)
- ・移動天文教室

科学

自然
環境
体験

芸文
化

交
通

- ・公園の施設等を使った環境教室
(小5)
- ・小中学校林間学校支援
- ・自然体験活動支援

- ・前橋市幼小中特別支援学校等図画作品展
- ・センターの各施設を子供や学生の学習活動の場として活用

- ・交通学習ゾーンを使った自転車教室
(小4、小6)
- ・歩行教室(幼・保)

学校外の学習活動の支援

- ・発明クラブ・宇宙クラブ等のクラブ活動
- ・多様なわくわく教室・夏季教室・科学教室等
- ・市民天文教室
- ・プラネタリウムのオリジナル番組投影と、職員の生解説
- ・環境冒険隊・こども公園環境教室等の定期的な環境学習活動
- ・多様な自然体験活動・環境学習の推進
- ・造形教室、絵画教室、和太鼓教室等の教育活動
- ・合唱団、ジュニアオーケストラ、演劇クラブ等のクラブ活動
- ・親子自転車乗り練習会
- ・おもしろ自転車体験

様々な体験活動の支援

- ・宇宙・天文等に関する掲示、情報紙
- ・プラネタリウムコンサート
- ・風力・水力・太陽光発電等環境に考慮した設備
- ・水田、むつみ川(ピオトープ)、身近な水辺の生き物を知るコーナー
- ・環境展示等の見学
- ・公園散策
- ・わくわくチャレンジコーナーで大学生と工作体験
- ・発表会・コンサート
- ・クライミングウォール
- ・ボランティア主催の教室
- (紙芝居、マジックショー、読み聞かせ、バルーンアート等)
- ・冒險遊び場で昔遊びや木登りなどの遊び
- ・バスの日のイベント、ロボコンなど関係団体との連携事業等
- ・ゴーカート・足踏みカートで車の交通ルールを体験しながらの遊び
- ・歩道や信号機等を活用した交通ルールの学び
- ・本物の蒸気機関車、電車模型の見学



多世代の交流

市民との連携・子供の活動支援

- ・ボランティアの会
- ・野メダカを育てる会
- ・青少年ボランティアセンター
- ・大学や多様な市民団体との連携

◎ 施設

この施設ならではの特色

児童文化センター

プラネタリウム

- ・最新機器(光学+デジタル式、フルドーム 映像)の導入
- ・番組制作ができるメディアルーム
- ・コンサートなどのイベントも実施

わくわくひろば

- ・開放型ブックラウンジ
- ・親子でふれあえる絨毯コーナー

多用途に使えるみんなのホール・ワーキングルーム

自然エネルギー等の活用

- ・太陽光発電パネル
(最大10kw、あづまや、公園照明、信号機)
- ・水力発電(最大200w)
- ・風力発電(最大400w) (EVゴーカートの電力)
- ・太陽光利用照明システム(スペースeco照明)
- ・太陽熱温水装置(デッキでの温水利用)
- ・雨水利用システム(メダカの飼育等の利用)
- ・屋上緑化・壁面緑化

わくわくアクア・めだかロード 水田・むつみ川(ピオトープ)

- ・前橋メダカ等の住処
- ・水辺の生き物の住む環境
- ・水辺の生き物を見られる水槽

はっけんラボ・スペースeco

- ・環境について自主的に学べる環境学習スペース
- ・電子顕微鏡もあり、実験・観察のできる部屋

どれみふあルーム

- ・歌ったり演奏したりできる部屋

つくるーむ

- ・木工、工作、ロボットなどの学習ができる部屋

広く使える2階の廊下

屋上

冒險遊び場

- ・子どもの冒險心をかき立てる遊具
- ・様々な昔遊びを体験したり、子供たちが自然を生かした遊びを考えたり物作りをしたりする交流の場

時の広場・日時計

- ・天文に親しむきっかけとなる日時計と太陽の動きを体験的に理解できる子ども日時計

音のステージ

- ・涼しい木陰でパフォーマンスを楽しめる屋外ステージ

ゴーカート・足踏みカート

- ・全長約700mのゴーカートコース
- ・環境に配慮したEVゴーカート
- ・世界初・ゴーカートコースのメロディライン
- ・自分の力でこいで運転する足踏みカート

交通学習のできる環境

- ・本物のような道路や歩道、歩道橋、信号機や踏切、各種道路標識等

公園内の自然・市街地ならではの環境

- ・緑の花をつける品種など10種類のサクラ
- ・様々なドングリなどの実のなる樹
- ・交通量の多い東部バイパスと道路から離れた公園
- ・水の豊かな広瀬川、市街地を流れる佐久間川
- ・星のみえる空、空つ風、長い日照

のびのび遊べる芝生広場

約240台収容できる駐車場